

2026年6月1日

各位

株式会社リボミック  
(コード番号：4591 東証グロース)**早稲田大学との共同研究成果に関する学会発表のお知らせ**

株式会社リボミック(東京都港区、代表取締役社長 中村義一)と学校法人早稲田大学(東京都新宿区、総長 田中愛治)との研究成果<sup>註1</sup>が、日本で開催される国際学会「The 20th International Biotechnology Symposium and Exhibition (IBS2026)」<sup>註2</sup>における口頭発表に採択されましたのでお知らせいたします。

本研究は、アプタマーの性能評価および設計を高度化することを目的とした、大規模言語モデル(LLM)を活用した新規アルゴリズム「RaptScore」に関するものであり、アプタマー創薬における研究開発の効率化および精度向上への貢献が期待されます。今回の口頭発表への採択は、本研究の新規性および学術的有用性が国際的に評価されたものと考えております。

なお本技術の詳細については2026年1月16日に公開した下記開示をご参照ください。

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4591/tdnet/2741784/00.pdf>

学会名	The 20th International Biotechnology Symposium and Exhibition (IBS2026)
タイトル	RaptScore: a large language model-based algorithm for versatile aptamer evaluation
会期	2026年6月28日-7月2日
会場	神戸国際会議場
URL	<a href="https://aeplan.jp/ibs2026/">https://aeplan.jp/ibs2026/</a>

註<sup>1</sup> Nucleic Acids Res. 2026 Jan 14;54(2):gkaf1480.

註<sup>2</sup> International Biotechnology Symposium and Exhibition(IBM):世界のバイオテクノロジー分野を横断する最大級の国際会議のひとつで、2年ごとに開催される総合バイオテクノロジー学会です。アカデミアと産業界の研究者が約1,000名規模で参加し、バイオテクノロジーの最前線と未来を議論する場として国際的に位置づけられています。

以上